

## 平成 30 年度事業報告

### I、植樹事業特定資産

#### 1、大阪府「府庁舎本館」植栽一式

府庁舎本館南側の歩道を拡幅しトウカエデ 9 本とさつきを植栽し、前年のがんセンターのトウカエデ 13 本とで緑のトンネルを形成した。 (324 万円)

#### 2、大阪府「安威川ダム」植栽一式

3 年後のダム完成に向けて湖畔にヤマザクラとイロハモミジを植えることで景観を作ってきた。4 年目の事業としてヤマザクラ 16 本を寄贈。 (94 万円)

#### 3、大阪府「槇尾川上流部」植栽一式

中止となったダム建設工事で荒廃した山の法面にキリシマツツジ 5400 本を植え、33 箇所めぐり 4 番札所槇尾山施福寺への参道を花で飾った。 (1,885 万円)

#### 4、大阪府「服部緑地サクラの杜」植栽一式

服部緑地の見どころの一つである円形花壇を中心とした周遊道を改修し、桜の広場で景観を作った。その桜群の中心にシンボルツリーとなる枝垂桜を植えた。 (262 万円)

#### 5、大阪府「大泉緑地桜広場」植栽一式

樹齢 50 年を超えた桜の老朽化が進み、枯損が目立ち始めたため、ソメイヨシノ 57 本の植樹を行い公園の刷新を図った。 (483 万円)

#### 6、忠岡町「町道中央線」植栽一式

街の中央を走る「さつき通り」と名付けられた通りのさつきが枯れてしまったため 1650 本のヒラドツツジと 30 本のクスノキで景観を取り戻した。 (975 万円)

#### 7、守口市「桃町緑道公園」植栽一式

幅 5 メートル、総延長 500 メートルほどの緑道公園に植えていた桜の老朽化が進み景観を損なっているため、全面にリニューアルを行い歩いて楽しい歩道を再生させた。国道 1 号線に面した緑道スタート地点にはシンボルツリーとして枝垂桜を植えた。 (873 万円)

#### 8、大阪市「正蓮寺川公園」植栽一式

20 年計画の公園化計画の内、3 年で千鳥橋から東側の第 1 期工事が完成した。

今期は地域住民の手で植栽を行うという企画も並行して行い、公園化という長年の悲願の第1歩を記したということで地域も大いに盛り上がった。(985万円)

9、大阪市「中之島バラ園」植栽一式

バラ園を立体的に鑑賞してもらうために公園全体を改装したのに合わせて、老化したり、枯れ死したバラの植え替えを行った。74本の若いバラが公園を彩る。  
(782万円)

10、大阪市「淀商業高校」植栽一式

樹木を校舎の増築工事で撤去したため、完成後の校庭をソヨゴなどの緑で囲った。  
(392万円)

11、大阪市「旭東中学校」植樹一式

増築工事のため樹木を撤去した後に841本のサツキを植えた。(337万円)

12、大阪市「梅南津守小学校」植栽一式

校舎の増築工事によって撤去した空き地にソメイヨシノなど高木9本とドウダンつつじ本を植えた。(140万円)

13、大阪市「友渕小学校」植栽一式

校舎の増築工事によって撤去した後ソメイヨシノ1本とヒラドツツジ156本を植えた。(98万円)

14、大阪市「大阪市立大学」植樹一式

台風によって荒れた杉本キャンパスにオオヤマザクラなど桜57本と阿倍野の附属病院の1階と6階に低木を植えた。(613万円)

II、緑化事業積立資産

大阪府「中之島にぎわいの森づくり事業」植栽一式

にぎわいの森のシンボルツリーの6本目としてドイツトウヒを城見緑道公園に植え、川巡りの船上から楽しめる景観を作った。(275万円)

以上総合計 8,518万円

【内訳】

植樹事業特定資産 8,243万円

緑化事業積立資産 275万円